

色覚補正メガネとは

色を感じるメカニズム

『色覚特性（かつての色盲・色弱）について』のページで、瞳は「色相」「彩度」「明度」の3要素で色を読み取ることをご紹介しました。

その色を読み取るために、瞳の中の色には光の三原色、「赤」を感じる細胞、「緑」を感じる細胞、「青」を感じる細胞があり、これらの色を受けた刺激の強さを合わせたものを色と感じています。

「赤」を感じる細胞と「緑」を感じる細胞を等しく刺激すると黄色の感覚が起こります。このようにして、色を感じる3種類の細胞を組み合わせを変えて刺激を与えることで、すべての色の感覚が起こります。



3色を認識する細胞のアンバランスから色覚特性が生じる

実はこの色を感じる細胞の量は人によって様々で、必ずしも3色均等ということではありません。色覚特性（かつての色盲・色弱）というのは、色の刺激を受ける3色の細胞のアンバランスから生じます。

例えば、「赤」と「緑」の光2つの刺激を受けた場合、「黄色」が認識されます。一般色覚者の場合、色の刺激は「赤」100% & 「緑」100%となるため「黄色を認識」します。ですが、「赤」を感じる細胞が60%しかない場合、「赤」60% & 「緑」100%となるため「緑」の認識が強くなり、『緑っぽい黄色』を認識するのです。



アンバランスを矯正すれば見えるようになる！？

上記の例の場合、「赤」を感じる細胞が60%に合わせて、「緑」と「青」を感じる刺激を60%に抑えることができれば、3色が同じバランスになります。バランスがそろえば、視界はやや暗くなるものの一般色覚者と同じバランスの色調の黄色を感じるができるのです。

現在では3色が同じバランスになるよう他の2色の色の透過率を弱める、そんなメガネがレンズが存在します。そしてなんと、色覚特性（かつての色盲・色弱）の人の98.2%が補正可能な補正レンズは「ネオ・ダルトンレンズ」といい、メガネスーパーでもお取り扱いしております。



すでに2万人の人々が「ネオ・ダルトンレンズ」を使用

色覚特性（かつての色盲・色弱）の人の98.2%が補正可能なメガネレンズ「ネオ・ダルトンレンズ」。2万人以上の方が利用し、新たな色覚の世界が広がっているそうです。趣味・生活・学問・仕事等でこれまで狭かった色覚特性（かつての色盲・色弱）の人たちの選択肢が増えたことが報告されています。

この補正できる「ネオ・ダルトンレンズ」はそれぞれの色覚特性に応じ12種類あり、この補正レンズを使って得意な色はそのままに、苦手な色を補正することができます。

気になる方は、店舗でご相談してみたいかがでしょうか。



補正レンズご購入の流れ

①ご予約

まずはお電話にてお問い合わせください。お客様のご都合に合わせて、色覚検査のご予約をいたします。

色覚検査のご予約はこちらより
0120-181-709

お問い合わせ受付時間
10:00~19:30

②ご相談

ご来店頂きましたら、専用のスタッフがお客様の色覚特性（かつての色盲・色弱）の状況をヒアリングいたします。補正レンズや検査についてご不明な点等ございましたら、お気軽にお問い合わせ下さい。

③検査

お客様がどのタイプの色覚特性（かつての色盲・色弱）か専用の機械で検査します。



④レンズ体験

12種類のレンズの中から、あなたに合うレンズを選定します。
※無理なご購入のお勧めは絶対にいたしません。安心してご相談ください。



⑤フレームの選定

店内でメガネフレームをお選びください。
※お好きなフレームに補正レンズを取り付けることができます。



⑥ご購入

補正レンズは1セット7~9万円となります。
※店頭でフレームをお選び頂いた場合、フレーム代は別途かかります。
※補正レンズのみのご購入も可能です。

